Xiaomi ロボット掃除機 X20 Pro 取扱説明書 ・01
Xiaomi Robot Vacuum X20 Pro User Manual ・14

安全情報

ご使用前にこの説明書をよくお読みください。また、いつでも参照できるよう保管してください。

使用上の注意

- 本製品は、家庭環境での床の清掃にのみ使用できます。屋外、床以外の場所、または商業施設または工業施設では使用しないでください。
- 本機器は、使用に伴う危険性を理解した上で、安全な使用方法について監督または指導できる方のもとであれば、8 歳以上のお子様や、身体・感覚または精神的な障害がある方、及び本機器の使用経験や知識がない方にもご利用いただけます。お子様を本製品で遊ばせないようにしてください。お子様による清掃またはメンテナンス作業は、必ず誰かの監督のもとで行うようにしてください。
- コードセットが損傷した場合は、製造元またはサービス代理店から入手できる専用コードセットに交換する必要があります。
- 本製品の電池は、専門の技術者のみ交換可能です。
- ロボット掃除機の動作中は、お子様やペットがロボット掃除機から離れた安全な場所にいることを確認してください。
- ロボット掃除機は、防護壁がない地上から浮いた場所で使用しないでください。
- ロボット掃除機を逆さまに置かないでください。LDS レーザーセンサーカバーやバンパーを持ってロボット掃除機を動かさないでください。
- 屋外や浴室、プールの周辺では、ロボット掃除機を設置、充電、使用しないでください。
- 電源コードや小さなおもちゃなどは本製品に巻き込まれる可能性があるため、事前に片付けておいてください。
- ロボット掃除機がぶつかって損傷するのを防ぐために、壊れやすいものや小さなものを床から取り除いてください。
- ロボット掃除機が静止中か移動中にかかわらず、ロボット掃除機の上に子供、ペットやいかなるものも乗せたり置いたりしないでください。
- 髪の毛、指、その他の身体の部分をロボット掃除機の吸引口から遠ざけてください。
- 燃えている物質を清掃するためにロボット掃除機を使用しないでください。
- 硬いものや尖ったものをロボット掃除機で吸引しないでください。
- 本製品をクリーニングまたはメンテナンスする前に、電源コンセントからプラグを抜いてください。
- ロボット掃除機や Omni ステーションを濡れた布で拭いたり、何らかの液体ですすいだりしないでください。洗浄可能な部品を洗浄した後は、再び取り付けて使用する前に部品を完全に乾かしてください。
- 輸送中は、必ずロボット掃除機の電源を切り、できれば、元の梱包箱に入れておいてください。

・本製品は、取扱説明書の指示に従って使用してください。本製品の不適切な使用に起因する損失または損害については、お客様の責任となります。
・電源供給回路には、定格残留動作電流が30 mA を超えない漏電遮断器（RCD）を設置することが推奨されます。
・周囲温度が40°C以上または0°C未満の場合、または液体や粘着性物質が付着した床では、水拭き掃除機を使用しないでください。

バッテリーおよび充電

警告:

・ロボット掃除機はD102-JZUS Omni ステーションでのみ使用できます。
・付属の電源コードセットはOmniステーション専用です。Omniステーション以外には使用できません。
・Omni ステーションの 50 Hz と 60 Hz の切り替えにお客様による操作は不要です。本製品は 50 Hz と 60 Hz の両方に自動的に適応します。
・バッテリーや Omni ステーションをご自身で分解、修理、改造は絶対にしないでください。
・Omni ステーションやロボット掃除機本体を熱源の近くに置かないでください。
・湿った布や濡れた手で Omni ステーションの充電端子を拭いたりクリーニングしたりしないでください。
・本製品やバッテリーを過度の高温にさらさないでください。
・バッテリー駆動の本製品やバッテリー端子は金属物でショートする危険がありますのでご注意ください。
・ロボット掃除機を長期間使用しない場合は、フル充電してから電源を切り、涼しく乾燥した場所に保管してください。
・バッテリーの過放電を避けるために、少なくとも 3 ケ月に 1 回はロボット掃除機を充電してください。

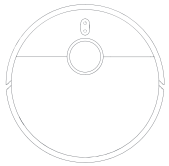
・ショートや液漏れを防ぐために、バッテリー取り外しの際、バッテリーを損傷させないでください。バッテリーが液漏れする場合は、液が皮膚や衣服に付かないようにして、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
・本製品から電池を取り外すときは、電池を使い切って、製品が電源から切り離されていることを確認することをお勧めします。
1.底面のネジを外し、カバーを取り外します。
2.バッテリーのコネクタを外し、バッテリーを取り外します。怪我の危険を避けるため、バッテリーケースを傷つけないようにしてください。
・本製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったリチウムイオン電池は、家庭ごみとして廃棄しないで、排出協力店へお持ちください。その場合、ショートの危険がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。
排出協力店の詳細は、一般社団法人ＪＢＲＣのホームページを御参照ください。
https://www.jbrc.com/

屋内でのみ使用してください。　ご使用前に、説明書をお読みください。

レーザーに関する安全情報

本製品のレーザーセンサーは、クラス 1 レーザー製品に関する IEC 60825-1: 2014 および EN 60825-1:2014/A11:2021 規格を満たしています。使用中にレーザー放射が直接目に入らないようにしてください。

製品紹介



ロボット掃除機

注意：説明書記載の製品、付属品、ユーザーインタフェースなどの画像はイメージです。製品のアップデートにより、実際の製品とイメージが多少異なる場合があります。その場合実物に準じます。

事前に取り付け済みの付属品



ブラシ



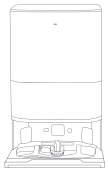
ブラシカバー



ダストボックス



フィルター（ダストボックスに事前に取り付け済み）



Omni ステーション（使い捨てパック、浄水タンク、汚水タンク、モップパッドトレイが装着済み）

その他の付属品



サイドブラシ



電源コードセット



使い捨てパック（Omni ステーションに事前に取付済み）



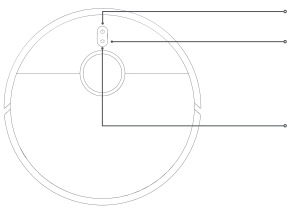
モップパッドホルダー 2 個



モップパッド 2 個（モップパッドホルダーに事前に取り付け済み）

モップパッドトレイスタンドエクステンダー

ロボット掃除機

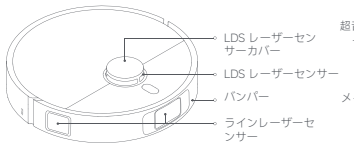


3 秒間長押しするとオンまたはオフになります
電源がオンになっているときに押すと、掃除を開始または一時停止します

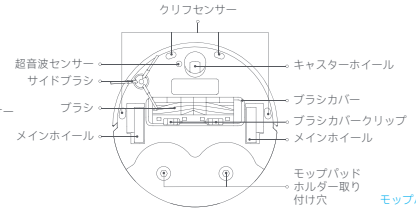
動作中に押すと一時停止します
一時停止中に押すと、充電のためにロボット掃除機を Omni ステーションに戻します
Omni ステーションに戻っている途中で押すと、ドッキングを停止します
3 秒間長押しすると、チャイルドロックを有効または無効にします

表示ランプ
白色：掃除完了/フル充電
白色に点滅：充電に戻り中/位置変更中/ファームウェアの更新中
ゆっくり白色に点滅：充電中
オレンジ色：Wi-Fiが切断
オレンジ色の点滅：エラー / 接続待機中 / Wi-Fi接続中

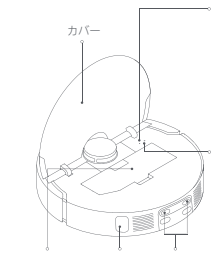
ロボット掃除機



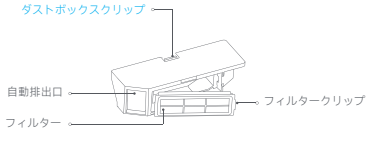
LDS レーザーセンサーカバー
LDS レーザーセンサー
バンパー
ラインレーザーセンサー



クリフセンサー
超音波センサー
サイドブラシ
ブラシ
メインホイール
キャスターホイール
ブラシカバー
ブラシカバークリップ
メインホイール
モップパッドホルダー取り付け穴

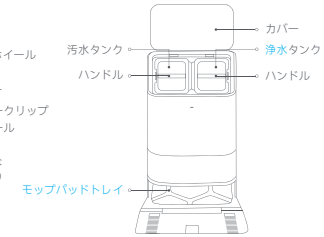


カバー
リセットボタン
• 3 秒間長押しすると、工場出荷時の設定に戻ります
• 10 秒長押しすると、電源が強制的にオフになります
Wi-Fi 表示ランプ
• 点灯：Wi-Fi に接続済み
• 点滅：Wi-Fi 接続待機中/Wi-Fi に接続中
• 消灯：Wi-Fi 未接続
ダストボックス
自動排出口
充電端子



ダストボックスクリップ
自動排出口
フィルター
フィルタークリップ
ダストボックス

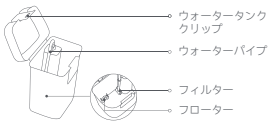
Omni ステーション



カバー
汚水タンク
浄水タンク
ハンドル
ハンドル
モップパッドトレイ



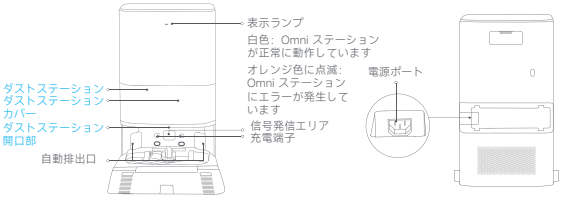
ウォータータンククリップ
フロートボール
汚水タンク



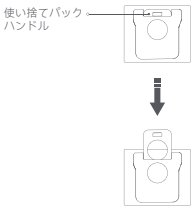
ウォータータンククリップ
ウォーターパイプ
フィルター
フローター
浄水タンク

インストール方法

Omni ステーション

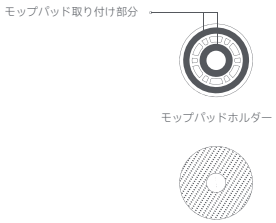


使い捨てパック



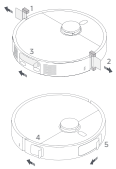
注意：Omni ステーションには、工場出荷時に使い捨てパックが事前に取り付けられています。

モップアセンブリ



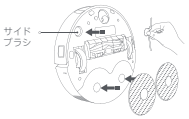
保護ストリップの取り外し

ロボット掃除機を使用する前に、両側から保護ストリップ1と2、保護フィルム3、4、5を取り外してください。



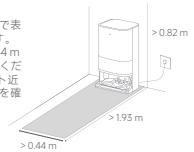
サイドブラシとモップアセンブリの取り付け

サイドブラシとモップアセンブリをそれぞれ図示されているように取り付けます。
「カチッ」と音がしたら取り付け完了です。



Omni ステーションの配置

- 木製床やタイル張りの床など、壁際の平坦で表面が硬い床に Omni ステーションを置きます。
- 高さ 0.82 m 以上、長さ 1.93 m 以上、幅 0.44 m 以上の空きスペースがあることを確認してください。Omni ステーションが電源コンセント近くの Wi-Fi 電波が良好なエリアにあることを確認します。



使い方

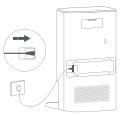
モップパッドトレイスタンドエクステンダーの取り付け

- 図示された方向に沿って、Omni ステーションにモップパッドトレイスタンドエクステンダーを取り付けてください。
- モップパッドトレイスタンドエクステンダーが Omni ステーションの底面と平行で、底面が平らになるようにしてください。



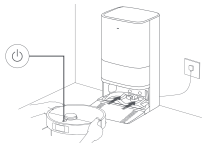
電源に接続

適切な場所に Omni ステーションを配置し、コードセットを接続して、電源コンセントにコードセットを差し込みます。
注意：表示ランプが白色になるまで、Omni ステーションの電源ポートにコードセットをしっかりと挿入します。



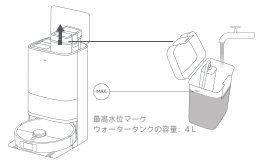
ロボット掃除機の設置

- 使用する前に、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを 3 秒間長押しして、電源を入れます。
- ロボット掃除機の電源が入ったら、ロボット掃除機を Omni ステーションに置いて、ロボット掃除機とステーションの充電端子の位置が完全に一致していることを確認します。
- 「充電を開始します」という音声プロンプトが聞こえれば、ロボット掃除機は Omni ステーションに正常に接続されています。



注意：
- 初めて使用する前に、ロボット掃除機のフル充電をおすすめします。
- バッテリー残量が少ないためにロボット掃除機の電源を入れることができない場合、ロボット掃除機を手で Omni ステーションに置いて、しばらく充電してください。
- ロボット掃除機が充電されると自動的に電源が入ります。

浄水タンクへの水の追加



注意：
- 水を追加する際は、最高水位マーク (MAX) を超えないようにしてください。
- タンクが変形する恐れがあるため、ウォータータンクにお湯は入れないようにしてください。
- ロボット掃除機の損傷を避けるため、浄水以外の洗剤などの物質を加えないでください。

Mi Home/Xiaomi Home アプリに接続します

この製品はMi Home/Xiaomi Homeアプリ*で動作します。Mi Home/Xiaomi Homeアプリを使用すると、デバイスを制御し、他のスマートホームデバイスと連携できます。

QRコードをスキャンし、アプリをダウンロード及びインストールします。既にアプリをインストールしているユーザーはデバイス接続ページに直接進みます。又は、アプリストアで「Mi Home/Xiaomi Home」を検索し、アプリをダウンロード及びインストールします。

Mi Home/Xiaomi Home アプリを開き、右上の ⊕ をタップして、表示される指示に従ってデバイスを追加します。

C629E33F

* 本アプリはヨーロッパでは Xiaomi Home アプリと称されます (ロシアを除く)。デバイスに表示されるアプリ名がデフォルトとされます。

注意：
- ロボット掃除機は Mi Home/Xiaomi Home アプリで動作し、Android 9.0 または iOS 12.0 以上のバージョンに対応しています。
- 2.4 GHz Wi-Fi ネットワークのみに対応しています。
- アプリのバージョンがアップデートされている可能性があります。最新版のアプリで表示される指示に従ってください。

Wi-Fi のリセット

ルーターがリセットされた、パスワードを忘れた、またはその他の理由でロボット掃除機がネットワークに接続できない場合は、次の手順を実行します。

1.Wi-Fi 表示ランプが見えるように、ロボット掃除機のカバーを開けます。
2.ロボット掃除機がネットワーク設定の待機中であることを示す音声プロンプトが聞こえるまで、⏻ ボタンと ⌂ ボタンを 7 秒間同時に長押しします。
3.Wi-Fi 表示ランプが点滅したら、Wi-Fi 接続は正常にリセットされています。

電源オン/オフ

· ⏻ ボタンを 3 秒間長押しして、ロボット掃除機の電源を入れます。ロボット掃除機の表示ランプが点灯したら、ロボット掃除機はスタンバイモードになっています。
· ロボット掃除機が一時停止して、充電されていないときに、⏻ ボタンを 3 秒間長押しして、ロボット掃除機の電源を切ります。

注意：ロボット掃除機が充電されると自動的に電源が入ります。

クイックマップ作成

· 初回のネットワーク設定後に、アプリの指示に従ってクイックマップ作成を有効にすると、ロボット掃除機は清掃をせずにマップ作成を開始します。
· ロボット掃除機が Omni ステーションに戻ると、マップ作成処理は完了し、マップが自動的に保存されます。

注意：

· ロボット掃除機が完全に充電され、Omni ステーションから始動することを確認してください。
· マップを作成する前に、床にあるものを取り除き、部屋のドアを開け、ロボット掃除機が入れない場所を塞ぎます。
· マップを作成する際は、ロボット掃除機を追いかけたり、動かしたり、中断させたり、Omni ステーションを撤去したりしないでください。
· マップ作成後は、ロボット掃除機に適さない場所、たとえば動けなくなる可能性がある場所や擦り傷がつく可能性がある場所などに、や制限エリアを設定してください。
· 長い毛やフリンジがあるカーペットが敷かれているエリアには、ロボット掃除機が絡まるのを防ぐためにや制限エリアを設定してください。
· カーペットが濡れないように、水拭きをする前に、または制限エリアを設定してカーペット敷きのエリアを除外します。

一時停止

ロボット掃除機の動作中にいずれかのボタンを押すと一時停止します。

注意：一時停止中は、ロボット掃除機を持ち上げたり、動かしたりしないでください。そうでなければ、ロボット掃除機がOmni ステーションに戻るのを妨げたり、マップを失う原因となる位置決めエラーが発生する可能性があります。

スリープモード

ロボット掃除機は 10 分間一時停止すると、自動的にスリープモードに入り、表示ランプが消えます。起動するには、ロボット掃除機のいずれかのボタンを押します。

注意：ロボット掃除機は、12 時間スリープモード状態にあると、自動的に電源がオフになります。

清掃の再開

掃除作業中にロボット掃除機のバッテリー残量が低下すると、ロボット掃除機は自動的に Omni ステーションに戻って充電します。ロボット掃除機が適切に充電されると、やり残したところから掃除作業を再開します。

チャイルドロック設定

チャイルドロックを有効または無効にするには、ロボット掃除機の ⌂ ボタンを 3 秒間長押しします。

注意：チャイルドロック機能が有効になると、ロボット掃除機のボタンは作動しなくなります。その場合、ロボット掃除機はアプリから操作できます。

ダスト排出

ロボット掃除機が掃除機がけとモップがけ作業、モップがけ作業前の掃除機がけ、または掃除機がけ作業を完了して、充電のために自動的に Omni ステーションに戻ると、Omni ステーションは自動的にダストカップのダストの排出を開始します。

注意：

· ロボット掃除機がモップパッドをクリーニングするために Omni ステーションに途中で戻ると、ステーションはダストボックスのダストを自動的に排出しません。
· アプリで自動ダスト排出機能が無効になっている場合、Omni ステーションはダストボックスのダストを自動的に排出しません。
· アプリで自動排出の頻度を変更すると、Omni ステーションは設定された頻度でダストを排出します。

掃除機がけとモップがけ

清掃を開始

· 始動させる前に、モップアセンブリとその他の必要な部品がロボット掃除機に取り付けられていること、および浄水タンクに水が追加されていることを確認してください。
· アプリで掃除と水拭きけモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して、ロボット掃除機をステーションから始動させます。次にロボット掃除機は、最適な掃除経路を計画し、作成したマップに基づいて清掃作業を実行します。



注意：

· ロボット掃除機は開始前にモップパッドを湿らせますので、しばらくお待ちください。
· 開始前に、Omni ステーションが電源に接続されており、ロボット掃除機が Omni ステーションに接続されていることを確認します。
· ロボット掃除機が掃除機がけとモップがけを完了した後に確実に Omni ステーションに戻ることができるように、ロボット掃除機を Omni ステーションから始動させることをお勧めします。掃除中に Omni ステーション、浄水タンク、汚水タンク、モップパッドトレイを動かさないでください。

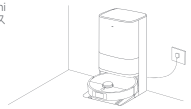
モップパッドをクリーニングするために途中で自動的に戻る

清掃中、ロボット掃除機は、一定の面積の清掃が完了後、Omni ステーションに自動的に戻り、モップパッドをクリーニングします。モップパッドのクリーニングが終わると、ロボット掃除機は清掃を再開します。



自動ダスト排出、モップパッドクリーニングと空気乾燥

ロボット掃除機が清掃作業を完了して、充電のために Omni ステーションに戻ると、Omni ステーションは自動的にダスト排出を開始し、モップパッドをクリーニングして、空気乾燥させます。

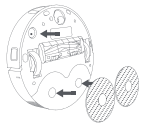


汚水タンクのクリーニング

モップパッドをクリーニングして、空気乾燥させたら、臭いを防ぐために汚水タンクを早めに洗浄してください。

掃除機がけ

アプリで掃除機がけモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して清掃を開始し、ロボット掃除機でモップアセンブリを持ち上げて、Omni ステーションから掃除機がけを開始します。掃除機がけが終わると、ロボット掃除機は Omni ステーションに戻って、自動的にダストカップのダストを排出します。



注意：モップアセンブリが取り付けられていない場合、ロボット掃除機は始動後に自動的に掃除機がけを実行します。

モップがけ

始動させる前に、モップアセンブリとその他の必要な部品がロボット掃除機に取り付けられていること、および浄水タンクに水が追加されていることを確認してください。アプリでモップがけモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して、清掃を開始します。次に、ロボット掃除機はまず自動的にモップパッドを湿らせ、Omni ステーションを離れてモップがけを開始します。モップがけが終わると、ロボット掃除機は Omni ステーションに戻って、モップパッドを洗浄して、空気乾燥させます。

モップがけの前に掃除機がけ

開始する前に、モップアセンブリがロボット掃除機に取り付けられていること、浄水タンクに水が追加されていることを確認してください。アプリでモップがけの前に掃除機をかけるモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機のボタン ⏻ を押して清掃作業を開始すると、ロボット掃除機がモップアセンブリを持ち上げて掃除機がけを行います。掃除機がけが終わると、Omni ステーションに戻り、自動的にゴミを空にしてモップパッドを湿らせ、モップアセンブリを下げてモップがけを開始します。

日常のお手入れ

部品

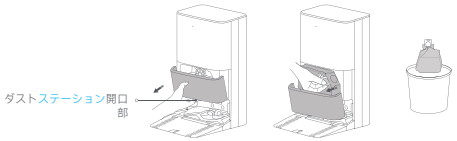
ロボット掃除機を良好な状態に保つために、次の表を参照して定期メンテナンスを行うことをおすすめします。

部品	クリーニング頻度	交換頻度
ダストボックス	必要に応じてクリーニング	/
フィルター	2 週間に 1 回クリーニング	3~6 ケ月ごと
浄水タンク	2 週間に 1 回クリーニング	/
汚水タンク	使用後毎回クリーニングすることをお勧めします	
モップパッドトレイ	1~2 週間に 1 回クリーニング	
ブラシ	2 週間に 1 回クリーニング	6~12 ケ月ごと
サイドブラシ	2 週間に 1 回クリーニング	3~6 ケ月ごと
モップパッド	/	1~3 ケ月ごと
キャスターホイール	月に 1 回クリーニング	/
LDS レーザーセンサー		
ラインレーザーセンサー		
クリフセンサー		
ロボット掃除機の充電端子		
超音波センサー		
バンパー	実際の使用状況による	/
ロボット掃除機の自動排出口		
ロボット掃除機の底面		
Omni ステーション		
Omni ステーションの充電端子		
Omni ステーションの信号発信エリア		
使い捨てパック	/	実際の使用状況に応じて約 2.5 ケ月ごとに交換

注意：
- 交換頻度はあくまでも目安です。部品が破損した場合は、効率的な清掃を行えるようにすぐに交換してください。
- ロボット掃除機を移動または配送する場合、浄水タンクと汚水タンクを空にして、輸送中にロボット掃除機が破損しないようにしてください。

使い捨てパックの交換

1.使い捨てパックがいっぱいになったら、ダストステーションの開口部からカバーを引き出します。ハンドルを使って、使い捨てパックを取り外し、廃棄します。

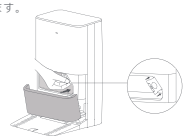


注意：使い捨てパックのハンドルを引っ張るとパックが密封され、ほこりやごみが外に出るのを防ぎます。

2.乾いた布を使って、フィルターの汚れを拭き取ります。



3.図示のとおりに新しい使い捨てパックを取り付けて、パックのハンドルをスロットに差し込みます。

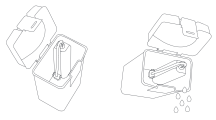


4.ダストステーションカバーを元に戻します。「カチッ」と音がしたら取り付け完了です。

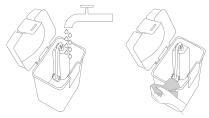


浄水タンクと汚水タンクのクリーニング

1.浄水タンクと汚水タンクの両方を取り外して、カバーを開け、水を排出します。



2.きれいな水を使ってタンクを完全に洗い、タンクの外側を乾いた布で拭いてから、もう一度 Omni ステーションに差し込みます。



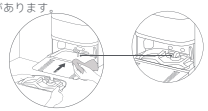
注意：浄水タンクのフローターと汚水タンクのフロートボールはいずれも可動部品です。破損を防ぐため、クリーニングの際は力を入れすぎないでください。

モップパッドトレイとモップパッドトレイスタンドのクリーニング

1.モップパッドトレイを取り除き、水道水とブラシで洗浄します。



2.乾いた布でモップパッドトレイを拭き、Omni ステーションに再び取り付けます。ウォーターパイプがモップパッドトレイの溝に入るようにしてください。正しく配置されていないと、正常に使えなくなることがあります。



注意：日常的な使用中やクリーニング中に Omni ステーションを傾けないでください。モップパッドトレイスタンドに水が溜まったら、布で拭いて乾かします。

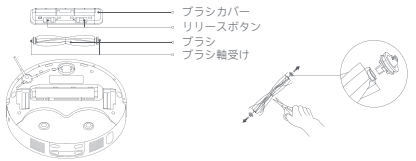
センサーと充電端子のクリーニング

柔らかい布を使って、ロボット掃除機の以下のすべてのセンサーと充電端子をクリーニングします。
- ロボット掃除機の底面のクリフセンサー。
- ロボット掃除機の背面の充電端子。
- ロボット掃除機の上部の LDS レーザーセンサー。
- ロボット掃除機の正面のバンパーとラインレーザーセンサー。



ブラシのクリーニング

- ロボット掃除機を裏返し、クリップをつまんで、ブラシカバーを取り外します。ブラシを持ち上げて取り外し、両端の軸受けを取り外して、ブラシの軸をクリーニングします。
- ブラシに絡まった髪の毛をハサミで切断し、ゴミを取り除きます。
- ブラシ軸受け、ブラシ、ブラシカバーを再び取り付け、所定の位置にしっかり固定します。



注意：ブラシに絡まる髪の毛が多すぎたり、髪が強く絡み合っている場合は、無理に引っ張るとブラシが傷つく恐れがありますのでご注意ください。

サイドブラシのクリーニング

1.ロボット掃除機をひっくり返し、サイドブラシを上方に引き出して、クリーニングします。
2.サイドブラシをロボット掃除機に再び取り付けます。

キャスターホイールのクリーニング

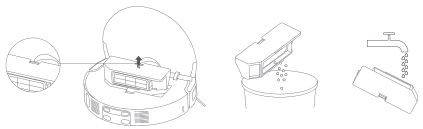
1.ロボット掃除機を裏返し、キャスターホイールを引き出します。
2.髪の毛、汚れ、その他のごみをホイールと軸から取り除きます。
3.キャスターホイールをもう一度挿入し、所定の位置にしっかりと押し込みます。



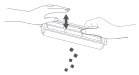
注意:
· 必要に応じて、小型のドライバーなどの工具を使用してキャスターホイールの軸をそっと開けて、クリーニングすることができます。
· ホイールは水で洗浄して、乾かした後に再度挿入することができます。

ダストボックスとフィルターの洗浄

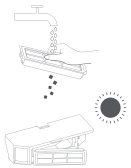
1.ダストボックスのリリースボタンを長押しし、ダストボックスを取り外して、フィルタークリップからフィルターを取り外し、ダストボックスを空にします。必要に応じてダストカップを水洗いしてください。



2.フィルターのフレームを軽くタップして汚れを落とします。または、水道水でフィルターを洗浄します。



注意:
· ブラシや指など、硬いものでフィルターをクリーニングしないでください。
· 頻繁な水洗いは推奨されません。フィルターが損傷する可能性があります。
· ダストボックスやフィルターは、きれいな水のみを使用して洗浄してください。洗剤は使わないでください。



3.ダストボックスとフィルターは、完全に乾かしてから再び取り付けてください。

モップパッドの交換

モップパッドホルダーからモップパッドを取り外し、新しいものと交換します。



Omni ステーションのクリーニング

Omni ステーションの充電端子、自動排出口、信号発信エリアを柔らかい乾いた布で拭きます。



バッテリーのメンテナンス

ロボット掃除機には、高性能のリチウムイオンバッテリーパックが内蔵されています。最適なバッテリー性能を維持するために、日常の使用中は、十分に充電された状態を維持してください。

注意: ロボット掃除機を長期間使用しない場合は、電源を切り、収納してください。過放電による損傷を避けるために、少なくとも 3 ケ月に 1 回はロボット掃除機を充電してください。

製品の仕様

ロボット掃除機

製品名	ロボット掃除機
型番	D102GL
製品寸法	Φ 350 × 97 mm
リチウムイオン電池	4800 mAh (定格容量) 5200 mAh (公称容量)
充電時間	約 6.5 時間
本体重量	3.7 kg
本体重量 (付属品込み)	12.3 kg
対応 OS	Android 9.0 または iOS 12.0 以上のバージョン
無線接続	Wi-Fi IEEE 802.11 b/g/n 2.4 GHz、Bluetooth 4.2
定格電圧	14.4 V ⎓
充電電圧	19.6 V ⎓
定格消費電力	55 W
動作周波数	2400～2483.5 MHz
最大送信出力	< 20 dBm

通常の条件において本機器を使用するにあたり、アンテナとユーザーの身体の間に最低 20 cm の距離をおくものとします。

Omni ステーション

型番	D102-JZUS
製品寸法	563 × 420 × 340 mm
定格入力	100-120 V～50/60 Hz 洗浄中　30 W 空気乾燥中 + 充電中　70 W ダスト排出中　1000 W
定格出力	19.6 V ⎓ 1.2 A

詳細については、www.mi.com をご覧ください。
製造元: Xiaomi Communications Co., Ltd.
所在地: #019, 9th Floor, Building 6, 33 Xi'erqi Middle Road, Haidian District, Beijing, 100085, China
中国製

Safety Information

Read this manual carefully before use, and retain it for future reference.

Usage Restrictions

- This product is for floor cleaning in a home environment only. Do not use it outdoors, on non-floor surfaces, or in a commercial or industrial setting.
- This appliance can be used by children aged from 8 years and above and persons with reduced physical, sensory or mental capabilities or lack of experience and knowledge if they have been given supervision or instruction concerning use of the appliance in a safe way and understand the hazards involved. Children shall not play with the appliance. Cleaning and user maintenance shall not be made by children without supervision.
- If the cord set is damaged, it must be replaced by a special cord set available from the manufacturer or its service agent.
- This appliance contains batteries that are only replaceable by skilled persons.
- Ensure children and pets are kept at a safe distance from the robot vacuum while it is operating.
- Do not use the robot vacuum in an area suspended above ground level without a protective barrier.
- Do not place the robot vacuum upside down. Do not move the robot vacuum by using its LDS laser sensor cover, cover, or bumper as a handle.
- Do not install, charge, or use this robot vacuum outdoors, in bathrooms, or near a pool.
- A hazard may occur if the appliance runs over the supply cord.
- Remove fragile or small items from the floor to prevent the robot vacuum from bumping into and damaging them.
- Do not place children, pets, or any item on top of the robot vacuum regardless of whether it is stationary or moving.
- Keep hair, fingers, and other body parts away from the suction opening of the robot vacuum.
- Do not use the robot vacuum to clean any burning substances.
- Do not vacuum up hard or sharp objects.
- The plug must be removed from the socket-outlet before cleaning or maintaining the appliance.
- Do not wipe the robot vacuum or omni station with a wet cloth or rinse them with any liquid. After cleaning washable parts, fully dry the parts before reinstalling and using them.
- Make sure the robot vacuum is turned off when being transported and kept in its original packaging if possible.

- Please use this product in accordance with the instructions in the user manual. Users are responsible for any loss or damage arising from improper use of this product.
- For additional protection, the appliance is to be supplied through a residual current device (RCD) having a rated residual operating current not exceeding 30 mA. The installation of a residual current device (RCD) having a rated residual operating current not exceeding 30 mA is advisable in the electrical circuit supplying. Ask your installer for advice.
- This appliance is considered to be suitable for use in countries having a tropical climate. It may also be used in other countries.
- Do not use the robot vacuum at an ambient temperature above 40°C or below 0°C or on a floor with liquids or sticky substances.

Batteries and Charging

WARNING:

- Do not use any third-party battery, cord set, or omni station. The robot vacuum can only be used with the D102-JZUS omni station.
- No action needed from users to shift the omni station between 50 Hz and 60 Hz, and the product can adapt itself for both 50 Hz and 60 Hz.
- Do not attempt to disassemble, repair, or modify the battery or omni station on your own.
- Do not place the omni station near a heat source.
- Do not use a wet cloth or wet hands to wipe or clean the omni station's charging contacts.
- Do not expose the appliance or battery to excessive temperatures.
- Be aware of the risk of terminals of the battery-operated appliance or battery being short-circuited by metal objects.
- If the robot vacuum won't be used for an extended period, fully charge it, then turn it off and store in a cool, dry place.
- Recharge the robot vacuum at least once every 3 months to avoid over-discharging the battery.

- Do not damage the battery when removing it to avoid short circuits or liquid leakage. If the battery leaks, keep the fluid from touching your skin or clothes, and wipe it away immediately with a dry cloth. Then send the battery to an appropriate recycling facility or the designated after-sales service team to properly dispose of it.
- The lithium-ion battery pack contains substances that are hazardous to the environment. Before disposing of the robot vacuum, please first remove the battery pack, then discard, or recycle it in accordance with local laws and regulations of the country or region it is used in.
- When removing the batteries from the product, it is better to use up the batteries and make sure your product is disconnected from power.
  1. Uninstall the screw on the bottom, then remove the cover.
  2. Unplug the battery connector, then remove the batteries. Do not damage the battery case to avoid any risk of injuries.
  3. Return the batteries to a professional recycling organization.
     – The battery must be removed from the appliance before it is scrapped.
     – The appliance must be disconnected from the supply mains when removing the battery.
     – The battery is to be disposed of safely.

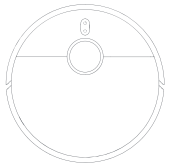
 For indoor use only.

 Before use, read the instructions.

Laser Safety Information

The laser sensor in this product meets the IEC 60825-1: 2014 and EN 60825-1:2014/A11:2021 Standard for Class 1 laser products. Please avoid direct eye contact with it during use.
CLASS 1 LASER PRODUCT
CONSUMER LASER PRODUCT
EN 50689:2021

Product Overview



Robot Vacuum

Note: Illustrations of product, accessories, and user interface in the user manual are for reference purposes only. Actual product and functions may vary due to product enhancements.

Pre-installed Accessories



Brush



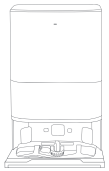
Brush Cover



Dust Compartment



Filter (Pre-installed on the dust compartment)



Other Accessories



Side Brush



Cord Set



Disposable Bag (Pre-installed in the omni station)



Mop Pad Holder × 2

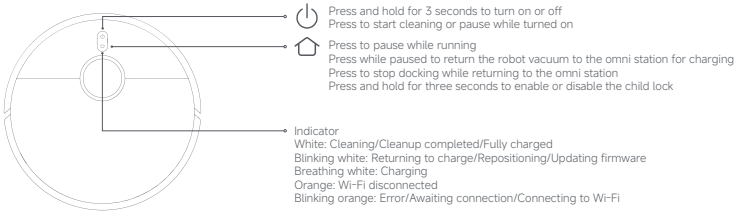


Mop Pad × 2 (Pre-installed on the mop pad holder)

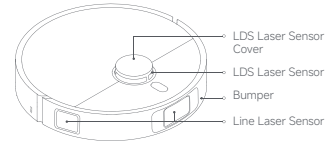
Washboard Base Extender

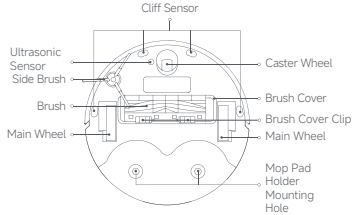
Omni Station (with a pre-installed disposable bag, clean water tank, dirty water tank, and washboard)

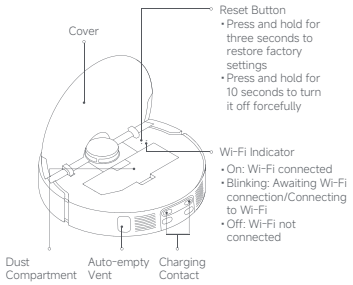
Robot Vacuum

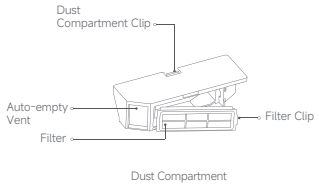


Robot Vacuum

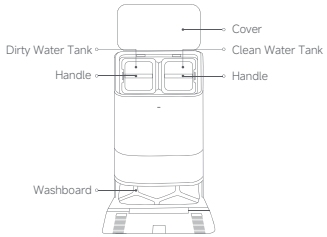


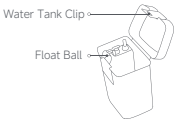


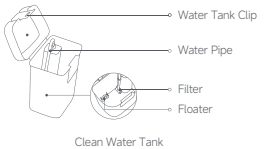




Omni Station

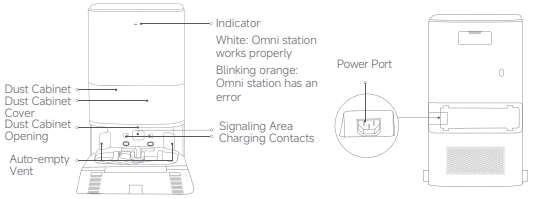






How to Install

Omni Station

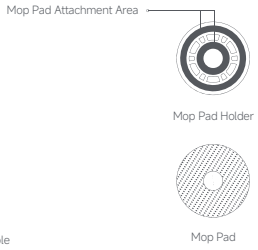


Disposable bag



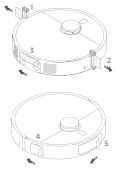
Note: The omni station is pre-installed with a disposable bag when leaving the factory.

Mop Assembly



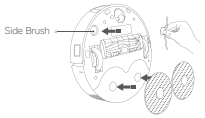
Removing Protective Coverings

Before using the robot vacuum, remove the protective strips 1 and 2 from both sides and protective films 3, 4 and 5.



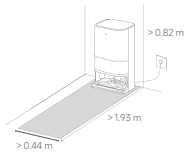
Installing the Side Brush and the Mop Assembly

Install the side brush and the mop assembly respectively as illustrated. They are properly installed when you hear a "click".



Placing the Omni Station

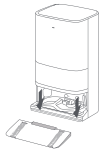
- Place the omni station against a wall on a flat and hard-surfaced floor, such as a wooden or tiled floor.
- Make sure there is empty space of more than 0.82 meters in height, more than 1.93 meters in length, and more than 0.44 meters in width. Ensure the omni station is in an area with a good Wi-Fi signal near an electrical outlet.



How to Use

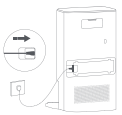
Installing the Washboard Base Extender

- Install the washboard base extender to the omni station along the direction as illustrated.
- Make sure the washboard base extender is flush with the bottom of the omni station, and the bottom surface is even.



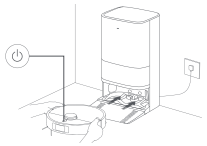
Connecting to Power

Place the omni station in an appropriate area, connect the cord set to it, and plug the cord set into an electrical outlet.
Note: Firmly plug the connector of the cord set into the power port of the omni station until the indicator stays white.



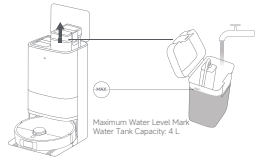
Placing the Robot Vacuum

- Before use, press and hold the button ⏻ on the robot vacuum for three seconds to turn it on.
- Once the robot vacuum is on, place it onto the omni station, and make sure the charging contacts on the robot vacuum and the station are fully aligned.
- The robot vacuum connects to the omni station successfully when you hear a voice prompt for starting charging.



Notes:
- Before the first use, it is recommended to fully charge the robot vacuum.
- If the robot vacuum cannot be turned on due to low battery level, manually place the robot vacuum onto the omni station to charge it for a while.
- When the robot vacuum is being charged, it will automatically turn on and cannot be turned off.

Adding Water to the Clean Water Tank



Notes:
- Do not add water above the maximum water level mark (MAX).
- Do not add hot water to the water tank, as this may cause the tank to become deformed.
- Do not add any substance like detergents other than clean water to avoid damaging the robot vacuum.

Connecting with the Mi Home/Xiaomi Home App

This product works with the Mi Home/Xiaomi Home app*. Use the Mi Home/Xiaomi Home app to control your device, and to interact with other smart home devices.

Scan the QR code to download and install the app. You will be directed to the connection setup page if the app is installed already. Or search for "Mi Home/Xiaomi Home" in the app store to download and install it.

Open the Mi Home/Xiaomi Home app, tap ⊕ on the upper right, and then follow the instructions to add your device.

* The app is referred to as Xiaomi Home app in Europe (except for Russia). The name of the app displayed on your device should be taken as the default.

C629E33F

Notes:
- The robot vacuum works with the Mi Home/Xiaomi Home app, and it supports Android 9.0 & iOS 12.0 or above.
- Only 2.4 GHz Wi-Fi networks are supported.
- The version of the app might have been updated, please follow the instructions based on the current app version.

Resetting Wi-Fi

Take the following steps if the robot vacuum cannot be connected to the network because the router is reset, the password is forgotten, or for other reasons:

1. Open the cover of the robot vacuum so that you can see the Wi-Fi indicator.
2. Simultaneously press and hold the buttons ⏻ and ⌂ for 7 seconds until you hear a voice prompt to indicate that the robot vacuum is waiting for the network configuration.
3. When the Wi-Fi indicator blinks, the Wi-Fi connection has been reset successfully.

Turning On/Off

- Press and hold the button ⏻ for three seconds to turn the robot vacuum on. When the indicator on the robot vacuum lights up, it means the robot vacuum enters the standby mode.
- When the robot vacuum is paused and not being charged, press and hold the button ⏻ for three seconds to turn it off.

Note: When the robot vacuum is charging, it will automatically turn on and cannot be turned off.

Quick Map Creation

- After configuring the network for the first time, follow the instructions in the app to quickly create a map, and the robot vacuum will start mapping without cleaning.
- The mapping process will be completed when the robot vacuum returns to the omni station, and the map will be saved automatically.

Notes:

- Make sure the robot vacuum is fully charged and starts from the omni station.
- Before mapping, remove the items on the floor, open the doors of the rooms, and block the areas unsuitable for the robot vacuum to enter.
- During mapping, do not follow, move, or interrupt the robot vacuum, and do not move the omni station.
- After mapping, set up virtual walls or restricted areas in areas unsuitable for the robot vacuum to enter, such as the areas where it may get stuck or be scraped.
- Set up virtual walls or restricted areas in areas with long-hair or fringe carpets to prevent the robot vacuum from getting entangled.
- Set up virtual walls or restricted areas to exclude carpeted areas before mopping to prevent the carpet from getting wet.

Pausing

When the robot vacuum is running, press any button to pause it.

Note: Do not lift or move the robot vacuum while it is paused. Otherwise, it may have positioning errors that could prevent the robot vacuum from returning to the omni station or cause the loss of the map.

Sleep Mode

The robot vacuum will automatically enter sleep mode after it is paused for 10 minutes, and its indicator will go out. To wake it up, press any button on the robot vacuum.

Note: The robot vacuum will automatically turn off after being in sleep mode for 12 hours.

Resuming Cleanup

If the robot vacuum starts running low on battery during a cleaning task, it will automatically return to the omni station to charge. When the robot vacuum is appropriately charged, it will resume cleanup where it left off.

Child Lock Settings

To enable or disable the child lock, press and hold the button ⌂ on the robot vacuum for three seconds.

Note: When the child lock function is enabled, the buttons on the robot vacuum will not work. Instead, you can control the robot vacuum via the app.

Dust Emptying

When the robot vacuum automatically returns to the omni station to charge after completing a vacuuming and mopping task, a vacuuming before mopping task, or a vacuuming task, the omni station will automatically start to empty the dust compartment.

Notes:

- When the robot vacuum returns midway to the omni station to clean mop pads, the station will not automatically empty the dust compartment.
- If the function of auto dust emptying is disabled in the app, the omni station will not automatically empty the dust compartment.
- If you change the auto-empty frequency in the app, the omni station will empty dust at the set frequency.

Vacuuming and Mopping

Start cleaning

- Before starting, ensure the mop assembly and other necessary parts have been installed onto the robot vacuum and the clean water tank has been added water.
- Select the vacuuming and mopping mode in the app, and use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to make it start from the station. Then the robot vacuum will plan the optimal cleaning route and perform the cleaning task based on the created map.



Notes:

- The robot vacuum will moisten the mop pads before starting, please wait with patience.
- Before starting, ensure the omni station is connected to power and the robot vacuum is connected to the omni station.
- To ensure that the robot vacuum can return to the omni station successfully after completing vacuuming and mopping, it is recommended to make the robot vacuum start from the omni station. Do not move the omni station, the clean water tank, the dirty water tank, or the washboard during cleaning.

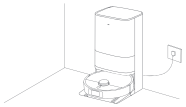
Automatically return to clean mop pads midway

During cleaning, the robot vacuum may automatically return to the omni station to wash the mop pads after it cleans certain squares of area. Once the mop pads have been washed, the robot vacuum will resume its cleaning task.



Auto dust emptying & mop pad cleaning and air-drying

When the robot vacuum has completed its cleaning task and returned to the omni station to charge, the omni station will automatically start emptying dust and then clean and air-dry the mop pads.

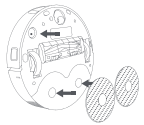


Clean the dirty water tank

After the mop pads have been cleaned and air-dried, please clean the dirty water tank in time to prevent odors.

Vacuuming

Select the vacuuming mode in the app, then use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to start cleaning, and the robot vacuum will lift the mop assembly and start from the omni station to vacuum. Once it finishes vacuuming, it will return to the omni station to automatically empty the dust compartment.



Notes: If the mop assembly is not installed, the robot vacuum will automatically perform the vacuuming after starting.

Mopping

Before starting, ensure the mop assembly and other necessary parts have been installed onto the robot vacuum and the clean water tank has been added water. Select the mopping mode in the app, and use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to start cleaning. Then the robot vacuum will automatically moisten the mop pads first and leave the omni station to start mopping. Once it finishes mopping, it will return to the omni station to wash and air-dry the mop pads.

Vacuuming before Mopping

Before starting, ensure the mop assembly has been installed onto the robot vacuum and the clean water tank has been added water. Select the vacuuming before mopping mode in the app, and use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to start the cleaning task, then the robot vacuum will lift the mop assembly to vacuum. Once it finishes vacuuming, it will return to the omni station to automatically empty the dust and moisten the mop pads, then it will lower the mop assembly to start mopping.

Care & Maintenance

Parts

To keep the robot vacuum in good condition, it is recommended to refer to the following table for routine maintenance.

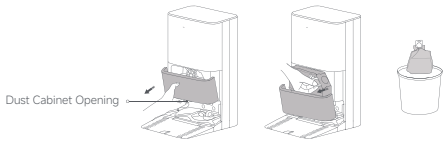
Parts	Cleaning Frequency	Replacement Frequency
Dust Compartment	Clean as required	/
Filter	Clean every two weeks	3–6 months
Clean Water Tank	Clean every two weeks	/
Dirty Water Tank	Recommended to clean after each use	
Washboard	Clean every 1–2 weeks	
Brush	Clean every two weeks	6–12 months
Side Brush	Clean every two weeks	3–6 months
Mop Pad	/	1–3 months
Caster Wheel	Clean every month	/
LDS Laser Sensor		
Line Laser Sensor		
Cliff Sensor		
Robot Vacuum's Charging Contacts		
Ultrasonic Sensor		
Bumper	Depending on actual use	/
Auto-empty Vents of Robot Vacuum		
Bottom of the Robot Vacuum		
Omni Station		
Omni Station's Charging Contacts		
Omni Station's Signaling Area		
Disposable Bag	/	About every 2.5 months depending on actual use

Notes:

- The replacement frequency is for reference only. If a part is damaged, it should be replaced promptly to ensure efficient cleaning.
- To move or ship the robot vacuum, please empty the clean and dirty water tanks to avoid the robot vacuum getting damaged in transit.

Replacing the disposable bag

1. When the disposable bag is full, pull the cover out from the dust cabinet opening. Remove the disposable bag using the handle, and discard it.

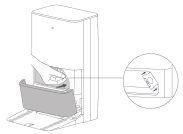


Note: Pull the handle of the disposable bag to seal it to prevent the dust and debris from getting out.

2. Use a dry cloth to wipe away any dirt from the filter.



3. Install a new disposable bag as illustrated and insert the handle of the bag into the slot.

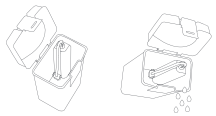


4. Put the dust cabinet cover back, and it is properly installed when you hear a "click".

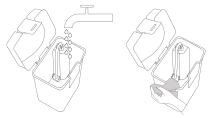


Cleaning the clean and dirty water tanks

1. Remove both the clean and dirty water tanks, open their covers, and pour out the water.



2. Use clean water to completely wash the tanks, then wipe the outside of the tanks dry before reinserting them into the omni station.



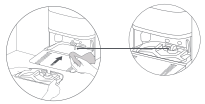
Note: Both the floater in the clean water tank and the float ball in the dirty water tank are movable parts. Do not apply too much force when cleaning them to avoid damaging them.

Cleaning the washboard and washboard base

1. Remove the washboard, and clean it with a brush using the tap water.



2. Wipe the washboard with a dry cloth, and reinstall it to the omni station. Make sure the water pipe is inside the groove of the washboard; otherwise, it may affect normal use.

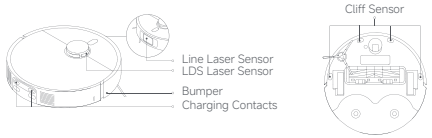


Note: Do not tilt the omni station during daily use or cleaning. If water collects in the washboard base, wipe it dry with a cloth.

Cleaning sensors and charging contacts

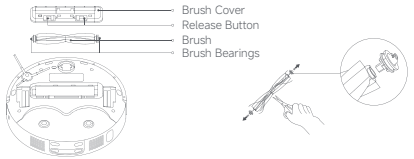
Use a soft cloth to clean all sensors and charging contacts in the robot vacuum:

- The cliff sensors on the bottom of the robot vacuum.
- The charging contacts on the back of the robot vacuum.
- The LDS laser sensor on the top of the robot vacuum.
- The bumper and the line laser sensor on the front of the robot vacuum.



Cleaning the brush

- Flip the robot vacuum over and pinch the clips to remove the brush cover. Lift the brush out, remove the bearings on both ends, and clean the brush's axle.
- Use scissors to cut any hair tangled around the brush, and remove any debris.
- Reinstall the brush bearing, brush and brush cover, and clip them in place.



CAUTION: If too much hair is tangled in the brush, or if the hair is tightly tangled, do not forcibly pull on it, as this could damage the brush.

Cleaning the side brush

1. Turn the robot vacuum over, pull out the side brush upwards, and clean it.
2. Reinstall the side brush into the robot vacuum.

Cleaning the caster wheel

1. Flip the robot vacuum over and pull out the caster wheel.
2. Remove hair, dirt, and other debris from the wheel and axle.
3. Reinsert the caster wheel and press it firmly back into place.



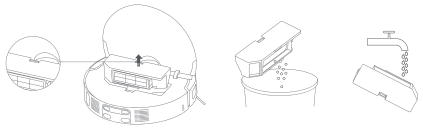


Notes:

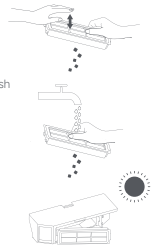
- If needed, you can use a tool such as a small screwdriver to gently pry out the axle from the caster wheel, and clean it.
- The wheel can be cleaned with water and reinstalled after drying.

Cleaning the dust compartment and filter

1. Press and hold the dust compartment release button to take out the dust compartment, remove the filter from the filter clip, and empty the dust compartment. You can rinse the dust compartment if needed.



2. Gently tap the filter frame to remove dirt, or clean the filter with tap water.



Notes:

- Do not attempt to clean the filter with a hard object, such as a brush or your fingers.
- Frequent rinse is not recommended, otherwise the filter may be damaged.
- Only use clean water to clean the dust compartment and filter. Do not use detergent.

3. Fully dry the dust compartment and filter before reinstalling them.

Replacing the mop pad

Remove the mop pad from the mop pad holder, and replace it with a new one.



Cleaning the omni station

Clean the charging contacts, the auto-empty vents, and the signaling area of the omni station with a soft, dry cloth.



Battery maintenance

The robot vacuum contains a high-performance lithium-ion battery pack. Please ensure that it remains well-charged during daily use to maintain optimal battery performance.

Note: If the robot vacuum is not used for an extended period, turn it off and put it away. To prevent damage from over-discharging, the robot vacuum should be recharged at least once every three months.

Specifications

Robot Vacuum

Name	Robotic Vacuum Cleaner
Model	D102GL
Item Dimensions	Φ350 × 97 mm
Li-ion battery	4800 mAh (rated capacity) 5200 mAh (nominal capacity)
Charging Time	Approx. 6.5 hours
Net Weight	3.7 kg
Net Weight (with Accessories)	12.3 kg
Compatible with	Android 9.0 & iOS 12.0 or above
Wireless Connectivity	Wi-Fi IEEE 802.11 b/g/n 2.4 GHz, Bluetooth 4.2
Rated Voltage	14.4 V ⎓
Charging Voltage	19.6 V ⎓
Rated Power	55 W
Operation Frequency	2400–2483.5 MHz
Maximum Output Power	< 20 dBm

Under normal use of condition, this equipment should be kept a separation distance of at least 20 cm between the antenna and the body of the user.

Omni Station

Model	D102–JZUS
Item Dimensions	563 × 420 × 340 mm
Rated Input	100–120 V~50/60 Hz
Rated Output	19.6 V ⎓ 1.2 A
Power (during dust emptying)	1000 W
Power (during cleaning)	30 W
Power (during air-drying + charging)	70 W

WEEE Disposal and Recycling Information

All products bearing this symbol are waste electrical and electronic equipment (WEEE as in directive 2012/19/EU) which should not be mixed with unsorted household waste. Instead, you should protect human health and the environment by handing over your waste equipment to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment, appointed by the government or local authorities. Correct disposal and recycling will help prevent potential negative consequences to the environment and human health. Please contact the installer or local authorities for more information about the location as well as terms and conditions of such collection points.

For further information, please go to www.mi.com
Manufacturer: Xiaomi Communications Co., Ltd.
Address: #019, 9th Floor, Building 6, 33 Xi'erqi Middle Road, Haidian District, Beijing, 100085, China
Made in China

22
PAP